

エジプト日本学校 (EJS) における学級会の特徴 (1)  
 —児童・教師の発言から見る変化—

○小泉 琢磨                      山田 真紀                      土屋 愛                      京免 徹雄  
 (深谷市立藤沢小学校) (椛山女学園大学) (熊谷市立久下小学校) (筑波大学)

1. 本発表の目的

学級会において、その評価はとても難しく、態度面や言語活動だけが評価されてしまうことも多い。筆者は昨年度一年間、埼玉県長期研修教員として、考案した参観シートを用いて学級会の参観を行い、数値化を行ってきた。さまざまな先生へのフィードバックを行う中で、感覚的だったものが可視化されることの意義はとても大きいと感じている。

そんな中、EDU-Port の調査研究の一環としてエジプトの特別活動 (Tokkatsu) の導入期から現在の導入状況や質的な変化について調査する研究に携わった。エジプトの”Tokkatsu”導入初期の学級会を映像で視聴し、12 月末にはエジプトへ渡航して現在の学級会を参観した。

本発表では、その2つの時期の学級会 (それぞれ2つ、計4つの学級会) の変化を上記の参観シートをもとに分析したことを伝え、エジプトの学級会の変化について検討したい。

2. 本発表の内容

(1) 学級会参観シートについて

子供の発言を、①意見や質問の発言、②賛成発言、③反対発言、④新しい考えの発言に分類し、また教師の発言を、①方法は示さない助言的な発言と②方法も示す指示的な発言に分類しながら記録をした。それらの結果から①つながり率、②教師の発言率、③教師の誘導率、④質的改善率などの数値を算出した。

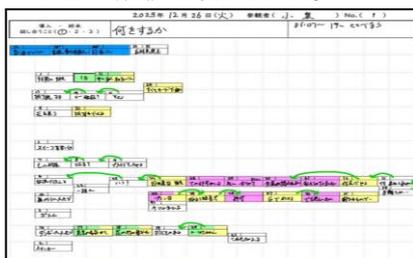


図1. 学級会参観シート (渡航時記録したもの)

(2) エジプトの学級会の変化

①導入初期の学級会

導入初期の学級会では、教師主導という印象が非常に強く実際に教師の発言率なども高い。一方で子供たちは一定数新しいものを生み出すような発言もしており、粗削りではあるが活気のある話合いでもあったことがわかる。

学校名	EJS Hadayk	EJSHayElarab
つながり率	14%	3%
教師発言率	47%	63%
教師誘導率	22%	21%
質的改善率	17%	17%
スルー回避率	58%	43%

表1. 導入初期の2つの学級会の数値

②導入6年目の学級会

昨年度参観した学級会では、導入初期と比べて大きな変化が見られた。教師の発言率の大幅な低下、子供のつながり率の向上などである。大きな成果が生まれている一方で質的改善率などは下がっている部分もあり、課題もある。

学校名	EJSNewCairo	EJS10 <sup>th</sup> of Ramadan2
つながり率	23%	31%
教師発言率	8%	8%
教師誘導率	8%	8%
質的改善率	14%	27%
スルー回避率	82%	63%

表2. 導入6年目の2つの学級会の数値

3. 日本の学級会にも生かすために

国をあげて目指す方向を明確にして取り組んでいる成果が見られた学級会であった。日本では、学級会に関してさまざまな取り組みがある。子供たちにどんな力をつけていきたいのかを明確にして、日本においても型や取り組んでいることを見直す必要があるのではないだろうか。